

EMERGENCY WATCH!

疾患頻度

1. 急性上気道炎・感冒	442人
2. 感染性胃腸炎	315人
3. インフルエンザ (確定：A型141人、B型20人)	222人
4. 気管支喘息・喘息性気管支炎	120人
5. 咽頭炎	111人

No.76
Apr.2017

神戸こども初期急病センター

2017年3月受診者数 1862人

インフルエンザの流行は徐々に収束に向かい、水のような下痢が出たり、嘔吐を繰り返したりする感染性腸炎が流行しています。一方でお彼岸の頃になると「ゼーゼーがひどくなって」急病センターを受診する患者さんが増えてきます。今月は「ゼーゼー」を採り上げます。

Q1. 「ゼーゼー」するところは何？

ヒトが呼吸をするとき、通常は鼻から空気が入り、口の奥の喉を通り、声を出す声帯を抜けて気管に至ります。気管は左右の気管支に分かれて肺に入り、次々に細く枝分かれして、最後に非常に細い気管支となって肺胞という袋に届きます。ここで酸素が血液に届きます。この空気の通り道の一部が狭くなり、そこを空気が通るときに「ゼーゼー」と音がします。空気が通りにくいと「息苦しく」感じます。

Q2. なぜ空気の通り道が狭くなるのでしょうか？

【1】風邪を引くと気道の中の粘っこい水(分泌物)が多くなります。空気が通る邪魔になります。

【2】風邪を引くと気道の壁の細胞が腫れて厚くなります。空気の通り道は狭くなります。

【3】何かのきっかけで気道の周りを囲んでいる筋肉が縮んで気道が狭くなります。きっかけは

- ①感染やアレルギーによる炎症反応
- ②気温や気圧の変化、1日の中の時間の変化
- ③有害物質(タバコの煙や粉塵など)の吸引

などが挙げられます。今回は②について考えてみましょう。

真冬の日中寒い時よりも、お彼岸の頃のように昼間は暖かいのに日が暮れてから一気に気温が下がる時の方が「ゼーゼー」しやすくなります。気温の変化が大きくなるのは季節だけではなく地形も関係します。盆地や丘の上などは平野部に比べて気温の変化が大きく「ゼーゼー」する人が多くなります。台風や前線が通過して気圧が下がった時も「ゼーゼー」する人が増えます。昼間遊びまわっているときは何ともなかったのに、夜眠たくなってから「ゼーゼー」することもがあります。苦しくなって急病センターに向かいますが、着いて診察を受ける頃には息が楽になっていたりします。目が覚めるんですね。「そんなに苦しみなさそうですね」と言って何も治療せずに帰ると、再び眠たくなった時には再び「ゼーゼー」します。家でどれだけ苦しかったかの情報が大切になります。

Q3. 治療は？

【1】上体を起こします。小さなお子さんは縦抱きに、年長の子は体育座りのように座ると息が楽になります。

【2】水分をしっかり摂ります。痰の粘りをサラサラにする薬を飲みます。気道の中の粘っこい痰が咳で出しやすくなります。

【3】喘息の場合は気管支を広げる薬(β刺激薬)を投与します。飲む薬、貼る薬、吸入する薬があります。クループ症候群の場合は喉を広げる薬を吸入します。

【4】気管支の炎症を抑える薬を投与します。ステロイドの他様々な薬があります。

昼間は元気だったのに夜に突然「ゼーゼー」することがあります。対応に困ったときはまずお電話でご相談下さい。